

精密医療は現在、肺がん患者を治療する強力な治療法であり、より少ない毒性で高い効果が得られます。



60%

患者の60%は、がん遺伝子変異を持っており、精密医療を受けることができる可能性があります。

良いニュース

がんが増殖したり、がんが免疫システムを回避したりする特定の遺伝子変異を標的とする新しい治療が開発されました。

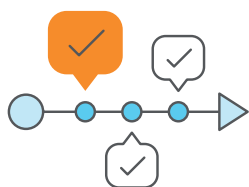
包括的な診断検査が現在使用されており、がん細胞中の遺伝子や生物学的なわずかな変異を検知する方法が開発されているところです。これにより、どの薬や治療法が最も効果的かを判断しやすくなります。

精密医療のおかげで、生存率全体が上がってきています。症例によっては、これらの治療の結果、病気が完全寛解した患者もいます。



アクションステップ

- 患者全員に必ずがん標的マーカー検査を受けてもらってください。
- ゲノム検査や標的治療を含む肺がんにおける新しい臨床試験や薬物承認についての最新情報を常に把握してください。
- 精密医療の効果や適用基準に基づいて患者に伝えてください。
- 患者が質問しそうなことに答えられるように準備してください。



腫瘍生物学、画像技術、ヒトの遺伝学において、次々と早いペースで発見がなされているので、個別化がん治療の時代が確実にやってきています。したがって、精密医療の進歩と承認済み治療法についての最新情報を常に把握することが非常に重要です。



肺がん啓発月間連合 (The Lung Cancer Awareness Month Coalitio, LCAMC) はこの分野の優れた国際研究啓発団体です。さらなるリソースについては [LCAM.org](https://www.lcam.org) を参照ください。